



発行日：平成24年10月 2日

発行者：市原市更級5丁目 1-51

市原市立中央図書館

よくよむ

TEL 0436 (23) 4946

http://www.library.ichihara.chiba.jp

10月27日(土)～11月9日(金)は **読書週間** です。  
さて、「読書週間」とは、なんでしょう??

終戦まもない昭和22年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回目は、期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとして

ています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、「本」が重要な役割を果たすことには変わりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計の中に、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。

『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されました。

※「社団法人 読書推進運動協議会」ホームページより

2012年・第66回

読書週間標語 は

**ホントノキズナ** です。



中央図書館では読書週間に合わせ、10月20日(土)から11月11日(日)まで

**“図書館 i らんど 2012”** を開催します。

本 あれ ーれ

『ちやっこメニ』

【第5回】

一番好きな本は何かと聞かれると迷ってしまうが、一番印象に残った本は?と聞かれたら『ルドルフとイッパイアツテナ』と答える。この本は児童文学作家・斉藤洋のデビュー作で、私は小学四年生の時に読んだ。ルドルフとイッパイアツテナは、二匹ののら猫の名前。魚屋のおやじに追いかけられたルドルフは、慌ててトラックに飛び乗った。トラックは走り始め、ルドルフは知らない大きな街にたどり着く。そこで、出会ったのがイッパイアツテナである。

「ほくはルドルフだ。あんたは?」

「おれか。おれの名まえは、いっぱいあつてな」

「えっ、『イッパイアツテナ』っていう名まえなのかい。」

イッパイアツテナは「教養のあるねこ」なので、ルドルフは文字を覚えて本が読めるようになっていく。学校に忍び込み学級文庫の本を読んだり、給食の献立表を読んで好きなメニューの日に食べに行ったり…。イッパイアツテナが文字を読めるのは、昔飼い主に教えてもらったからなのだ。飼えなくなってしまうと分かったときに、イッパイアツテナの飼い主は文字を教え始めた。

これを読んだ私は、飼っていたビーグル犬のメリーに文字を教えようと思いついたのだ。小学校から帰ってくると、メリーと散歩に行きそれから地面にひらがなを書いて読み上げて、さらに前足をつかんでその文字を書く。ところが、二週間ほどでやめることになった。食欲旺盛で元気がいっぱいだったメリーが、食欲を失いおとなしくなってしまうのだ。動物病院に連れて行くと、「ストレスを感じて胃が弱っているようです。しばらくは消化の良いものを与えてください」と獣医に言われ、心当たりのあった私はメリーに文字を教えることを諦めることにした。せっかくながら、メリーに文字を教えること…と当時の私は思ったのだが、メリーにとっては迷惑だったのかなと反省している。読んだ後に思わず行動を起こしたくなるほど印象に残る本。そんな本に出会えたことは幸せだと思う。

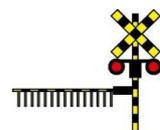
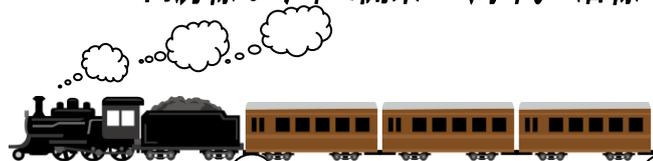
(メリー 10歳)



『ルドルフとイッパイアツテナ』  
斉藤 洋/作  
講談社

図書館「らんど 2012」にて、内房線開業 100 周年記念展示を行うにあたり、今回は、鉄道についての特集をいたします。

内房線は今年で開業100周年。沿線の街の移ろいと内房線の歩みを紹介します。



←  
木更津  
方面

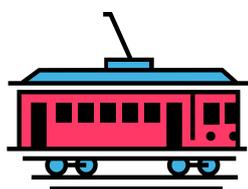
姉ヶ  
崎駅

五井  
駅

八幡  
宿駅

→  
千葉  
方面

内房線（当時：房総線）が敷かれた明治 45 年当時の八幡は、巨大なコンビナートもなく、遠浅の海が広がるのどかな海辺の町だった。大正時代の 1 日の乗客平均数は 170 人前後だったそうだ。五井駅や姉ヶ崎駅はそれより少なく 120 人前後だったという。昭和戦前や戦後 30 年代頃になると、八幡海岸は潮干狩りや海水浴の一大観光地として賑わうようになる。鉄道が敷かれたことで、遠方からも大勢の海水浴客が波穏やかな内房の海を求めてやってきたのだ。夏期には臨時列車が増発され、駅には案内所が開かれたという。八幡宿駅からほど近いところには、飯香岡八幡宮が静かに鎮座するが、ここから東京湾が臨めたそうだ。この境内には市原市出身の直木賞作家・立野信之の文学碑が建っている。碑文は自伝的長編『流れ』の第三部「初恋」の一節。彼は、のどかな海岸風景が眺められるこの神社を好んで散策したそうだ。



さて、その立野氏の出身地は五井である。ここは、養老川河口の海の町として海苔の養殖などが盛んに行われてきた。五井駅は、八幡宿駅や姉ヶ崎駅に比べると海岸までの距離が遠かったため、海水浴客は近在の客が多かったそうだ。その豊かな海も臨海工業地帯造成のため手放すことになる。市原市の発展と共に移り変わった漁業の変遷は『五井漁業史』<sup>※</sup>（五井漁業史編纂委員会）にまとめられている。大正 14 年には、小湊鉄道が五井駅を起点に里見駅まで開通。五井駅は多くの人が行き交うようになり、中心街を形成してくる。昭和 53 年には、市原市の表玄関としてふさわしい駅舎を、という市民の念願がかない、橋上駅舎に建て替わった。区画整理された駅の東口からは、菅原孝標の女の『更級日記』<sup>※</sup>にちなんで名づけられた「更級通り」が真っすぐに伸び、“京”に向けて出立する様子を表したモニュメントが駅前に建つ。五井駅は、古き時代の口マンへいざなう旅立ちの駅である。

ところで、海辺を走る鉄道からは、どのような風景が広がっていたのだろうか。姉ヶ崎駅と榎葉駅（現：袖ヶ浦駅）の間の沿線は、特に絶景の地として有名だったそうだ。青い松林が続き、海の彼方には富士山が浮ぶ。飽くことを知らない美景を背にし、煙を吐きながら走ってくる蒸気機関車はひときわ目を引いたに違いない。その姉ヶ崎駅近くには、駅前ぶらり旅にうつつつけの妙経寺がある。水戸光國や小林一茶が参詣したことで知られる古刹である。ここには島流しになった主人の家族を養い、主人の赦免に尽くした義僕市兵衛の墓がある。この美談を元にして書かれた村上元三の『上総風土記』<sup>※</sup>は直木賞を受賞している。また、この寺には戊辰戦争で散った徳川義軍の兵士たちも眠る。駅前の風景が変わっても、ここにはこの街の歴史が息づいている。鉄道の歴史とともに移り変わる私たちの街。昔を思い出し、未来に思いをはせて、もう一度駅に降り立ってみよう。



※の資料は図書館に所蔵があります。カウンターにおたずねください。

<<参考文献>>「内房線久留里線開業 100 周年」「市原のあゆみ」「市原市の昭和史」「写真集明治大正昭和 市原市」「目で見る市原市の 100 年」「旅もよう 千葉県編」「市原市八幡あれこれ」「今津朝山のあゆみ」

# 本 à la carte



## 鉄道本



※このコーナーでは図書館員がおすすめする本を紹介します。

～ 物語はレールの上で作られる ～



### 急行アルプス殺人事件

西村京太郎 著／角川書店  
(請求番号:913.6/ニ)

#### 人助けが殺人の始まり

坂口刑事は急行「アルプス」で移動中、車の炎上を目撃する。乗務員と協力して女性を救出するが、間もなく死亡する。やがて乗務員が殺されていき…。その第4話目に「内房線で出会った女」という作品があります。



### 小湊鉄道の今昔

遠山あき 著／崙書房  
(請求番号:686.21/トオ)

#### 鉄道敷設時代を語る

五井から上総中野まで、養老川につかず離れず走る小湊鉄道。もの言わぬ鉄路であっても、そこにはたくさんの歴史がある。



### 外房線60秒の罠

西村京太郎 著／徳間書店  
(請求番号:913.6/ニ)

#### 一分間でいったい何ができるだろう……。

殺された恋人との思い出をたどり、南房総の旅に出た井口は、ある女性と出会う。数日後、その女性が絞殺体で発見された。持ち物から井口が呼ばれ、遺体と対面した彼だったが、自分が出会った女性は別人だと主張し……。



### 地下鉄(メトロ)に乗って

浅田次郎 著／講談社  
(請求番号:913.6/ヤ)

#### せつなく哀しい愛と冒険の傑作小説

永田町の地下鉄駅の階段を上がると、そこは30年前の風景。ワンマンな父に反発し自殺した兄が現れた。さらに満州に出征する父を目撃した。だが、封印された過去に行ったため……。



### 銀河鉄道の夜

宮沢賢治 著／新潮文庫  
(請求番号:913.6/ヤ)

#### 永遠の名作……。

貧しく孤独な少年ジョバンニが、親友カムパネムラと銀河鉄道に乗って美しく悲しい夜空の旅をする。



### 有栖川有栖の鉄道ミステリ・

#### ライブラリー

有栖川有栖 著／角川文庫  
(請求番号:908.3/アリ)

#### 読み応えのある短編が10作も収録!

自他ともに認める鉄道ファンの有栖川有栖が、国内外の鉄道ミステリの名作を厳選。



### 図書館の猫の手



知っておくと便利な  
図書館の利用法を紹介します。

東日本大震災・原発事故による避難者支援のため、『福島民報』『福島民友』の新聞2紙を、福島県より寄贈していただいています。支援の状況や、復興への動きなど、福島の情報を知るためご活用ください。

# 蔵書点検の為休室します

平成24年11月26日(月)～  
11月30日(金)

姉崎・五井・国分寺・辰巳  
市津・南総の各公民館図書室

- ・上記期間の各施設での貸出は出来ません。
- ・返却は各施設の返却ポストへお願いします。

皆様のご理解、ご協力を。

読書の秋。図書館でのんびり読書を楽しみませんか？

# 図書館の新しいサービス

お帰りの際、急な雨でお困りになった事はありませんか？

利用者の方へのお手伝いとして、

「傘のレンタルサービス」を始めました。



《傘の借り方》

- ・中央カウンターへ申込み下さい。

《傘の返し方》

- ・貸出期間は2週間です。
- ・中央カウンターへ返却をお願いします。

# みんなが選んだ！みんなで楽しむ！ 映画会

今年のiらんの映画会は、皆様の投票によって決定しました。  
7月20日～8月17日の投票期間で、313票の投票が集まりました。  
上映作品と日付は下記の通りです。

10月28日(日)	はやぶさ/HAYABUSA
11月3日(祝・土)	カンフーパンダ
11月4日(日)	旭山動物園物語 ペンギンが空をとび

各日午後2時から、上映開始します。

皆様のご参加をお待ちしています。

# 図書館からのお願い

## \*車でお越しの利用者の方へ\*

『駐車場内は一方通行です。』矢印の方向へ進むようご協力をお願いします。



## \*忘れ物\*

最近、図書館での忘れ物が増えています。

**自分の物は自分で管理を！**

また、本を読む際に付けた付箋や、葉などのお取り忘れも多いので、返却前にもう一度確認をお願いします。

# 中央図書館利用案内

## \*開館時間

午前9:30～午後5:00

※水・金曜日(祝日除く)は一般読書室のみ午後7:00まで

※児童室・視聴覚カウンターは全日午後5:00まで

## \*休館日

月曜日

月末図書整理日(月の最後の平日)

特別整理期間

年末年始(12月29日～1月3日)

## \*貸出冊数・貸出期間

図書・雑誌 10冊まで

視聴覚資料 2点まで いずれも2週間

## \*初めてカードを作るには

住所・氏名の確認できるもの(運転免許証や保険証など)をお持ち下さい。